

## 令和5年度第3回南丹市男女共同参画社会推進委員会会議録

日 時 令和5年10月30日（月）10：00～12：00

場 所 南丹市役所3号庁舎2階第4会議室

出席者 芦田美子委員、大嶋久美子委員、大坪洋子委員、城戸貴子委員、  
木村節子委員、栗原明日香委員、戸本節子委員、中村裕予委員、  
野中大樹委員、八木あけみ委員

事務局 前原正明市民部長、浅田妙子人権政策課長、大塚道昭課長補佐、  
大狩朋範主任、ジャパン総合研究所職員

欠席者 岸田義章委員、仲村 哲委員、矢野茂世委員

傍聴者 0人

### 1. 開会

### 2. あいさつ 大坪委員長

皆さん、本日は出席いただき、ありがとうございます。

いよいよ大詰めとなります。男女共同参画を論議してきて、計画を立てて5年がたち、来年の春には中間見直しをきちんと決めていかなければいけない時期になっています。

皆さんにじっくり読んで、チェックをしていただいたと思います。男女共同参画の行動計画の見直しがしっかりできるように、短い時間ですが、論議をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

### 3. 議事

#### ■第2次南丹市男女共同参画行動計画（中間見直し）素案の検討について （事務局説明）

#### ○委 員

34ページの11番「人権啓発の取組」にLGBTと書いてありますが、最近  
はLGBTQなので、「Q」を入れるかどうかを検討していただきたいと思います。

#### ○事務局

LGBTQに修正します。

○委員長

34ページの(2)「メディアにおける人権尊重の推進」の13番が削除されたので、番号が1番ずつずれてきたということでしょうか。

○事務局

13番が廃止となったため、1番ずつ繰り上がります。

○委員

メディアで、誹謗中傷などいろいろな事柄が問題になっているので、「メディアを正しく活用する力の養成」のようなものがあるといいと思いました。

○委員長

ケーブルテレビが市から離れて削除されたので、何か入るものはないかと思えます。市がケーブルテレビの主導権を持たなくなっても、どうにかできないかと思えます。削除されたと同時に、どういう方法で方針を持つのかという疑問をもちました。

○委員

34ページの重点課題3「男女の人権の尊重」で、「男女共同参画を推進するためには、性別に関わりなく、誰もが多様性を尊重し、社会的な変化と意識の向上を促進することが重要です」と書かれていますが、「社会的な変化と意識の向上」ではなく、「社会的変化に伴う意識の向上」にしたほうが分かりやすいと思いました。

○委員長

「誰もが多様性を尊重し」は、最初の基本目標の時ではなく、新しく入った文言なので、整理をしてほしいところです。見直しをしたため、情勢に応じて文言が変わっていると思いました。

44ページの50番「相談体制の充実」の施策の内容の3行目が、「相談員（身体障害者相談員・知的障害者相談員・精神障害者相談員）との連携強化」と、以前の「とも」から「との」に変わっています。「とも」は幅が広がる感じがしますが、「との」は内容が限定される感じがしますので、検討していただきたいと思えます。

○委員

私も同じ考えです。地域の民生委員なども相談体制の中に取り込まれていいと思えます。

○事務局

「とも」と「との」の違いの見解としては、あくまでも福祉事務所内に配置している、委嘱していると限定するために、「との」と表記をしています。

○委員長

「とも」として、幅が広がるほうがいいと思います。

○委員

51番の施策の内容に、「児童扶養手当、母子家庭奨学金」とありますが、ひとり親家庭は父子も入ると以前確認をしていただきましたので、父子家庭奨学金があるのであれば、「父子・母子家庭奨学金」としたほうがいいと思います。

○事務局

担当課に確認したところ、母子家庭奨学金しかないとのことでした。

○委員長

父子家庭にも奨学金をつくらせてあげたいという声は挙げていますが、今は母子家庭奨学金しかありません。これは、また別の問題があると思います。

○委員

47ページの59番の施策の内容の最後に、「情報提供を行っていく」とありますが、「行っていきます」としたほうがいいと思います。

46ページの(2)「生涯を通じた健康づくりの支援」の55番「健康づくりのための啓発活動の推進」は、最初に「生涯にわたる」と書かれていますので、男女共同参画とは少し違うかもしれませんが、乳幼児期・児童生徒の食育や健康教育や高齢者のフレイル予防等も踏まえてもいいと思いました。

○委員

9ページの①で、「女性の割合が多い審議会・委員会等」と「女性の割合が少ない審議会・委員会等」の比較がありますが、多い、少ないの基準が分からないため、前回から何か引っ掛かるものがありました。10%は明らかに少ないと思いますが、42%は多いのでしょうか。

○委員長

30%を超えようという基本的な目標と比べていると思います。

○事務局

審議会・委員会等はたくさんあるので、上位と下位を分けて、国の目標数値の30%と対比して多い、少ないを書いています。今言われた都市計画審議会が5.3%と、専門的な部分で女性の委員の割合が少なくなっていますが、各委員会で積極的に女性を登用いただいたり公募していただくという取組を今後も進めさせていただきます。

○委員

提案ですが、「女性の割合が多い審議会・委員会等」は、「目標の30%を越えている委員会」という表現にしてはどうでしょうか。

○事務局

わかりやすく表現したいと思います。

○委員

施策の内容の中で32ページ、34ページ、35ページなどに、「多様な媒体」という言葉がいろいろな表現方法で出てきています。例えば32ページは、1番の施策の内容の1、2行目に、具体的な媒体名が挙がっていますし、35ページは、14番の施策の内容の3行目に、「各種広報媒体」と挙がっています。「多様な媒体」に対する表現が施策によって違うのは意図があるのか、作成者が違うために同じ表現ではあるけれども、そのようになっているのでしょうか。

また、フェイスブックやLINEは、今現在閲覧者が多いものとは思いますが、媒体名は日々変わっていくため、変更の対象になるのではないかと思いますので、具体的な媒体名を出すのは慎重にされたほうが良いと思います。

○事務局

南丹市公式でのアカウントを持っているため、前回の計画にはフェイスブックと具体的に載っています。

○委員長

「多様な媒体」については考えるべきだと思います。南丹市が公式に出しているものがあれば、挙げてもいいと思います。

○委員

媒体は変わっていくと思われまので、「多様な媒体」ということでLINEなどは載せなくてもいいと思います。メインは、広報「なんたん」、なんた

んテレビ、お知らせ「なんたん」、市のホームページがあります。

○委員長

「多様な媒体」は、整合性を考えて整理してください。

○事務局

整理して統一した表現にします。

○委員

47ページの59番に「情報提供を行い、参加者増に努めます」と記載されていますが、参加者が増えれば達成したような理解になる可能性があると思いますので、「理解を深める活動を推進します」のほうがいいと思います。

■R4年度庁内ヒアリングシート様式について

(事務局説明)

○委員長

前回の意見を反映して、各課からの意見を細かく整理していただいています。「次期計画の施策の方向性」は、「4」の完了・廃止が2カ所で、ほとんどが「2」の継続となっています。

○委員

「メディアにおける人権尊重の推進」で、メディアを正しく読み解く力の養成を目的とした市の事業を行っていないため廃止となっていますが、男女共同参画の視点に立つのであれば、行動する側は市以外でも、読み取る側は市民なので、正しく読み取る力の養成、活用する力の養成は必要ではないかと思います。

○委員長

「メディアにおける人権尊重の推進」の部分を整理してほしいと思います。市と関係ないので切ったように感じるので、「メディアにおける人権尊重の推進」の立場で、市民に向けて、秘書広報課は何をするかを入れてほしいと思います。拡充はどこもないのですか。

○事務局

ヒアリングシート自体での拡充はない状況ですが、ドメスティック・バイオレンスやLGBTQの問題で「継続」としています。パートナーシップ制度などの拡充等があります。説明不足で申し訳ありません。

○委員長

方向性としては「継続」でも、内容は拡充していくということが文章化されている部分もあります。

ヒアリングシートは、同じ形式でまとめて見やすくなりました。ヒアリングシートありきで素案が出来上がったという意味で、ヒアリングシートの内容を見ていただければと思います。

事務局から、これだけは知っておいてほしいということはありませんか。

○事務局

昨年度のヒアリングシートにおける保育所等の回答で、専門用語、画一的な表現、設問に対して妥当でない回答があるというご指摘がありました。今年度のヒアリングシートについては、各園や保育所に照会をかける際に、指摘を受けたような文言があった場合、職員から各課に指摘して、表現を変えていただいています。

○委員長

前は「同じく」ばかりで、マニュアルどおりと感じましたが、今回はなりました。ヒアリングシートを出す担当課の姿勢も徹底できていると思います。

○事務局

ヒアリングシートには、課題が具体的に書かれているため、市の中にどういう課題があるのかを見ることができます。今後の方向性から新しい文章を入れ込んだだけではなく、今の課題についての文章化もありましたので、課題が具体化されて、今の市の状況がみえやすいと思います。

5・その他

○事務局

南丹市人権フォーラムの案内

6. 閉会 野中副委員長

第3回委員会にお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございました。素案見直しについては、貴重なご意見等も承っておりますので、事務局で修正等の作業をよろしく願います。皆さんにおかれましては、急に寒くなってきておりますので、健康には十分ご留意いただき、次回にも、元気で出席いただきますようお願いして、閉会の言葉とさせていただきます。本日は誠にご苦勞様でした。

